



新時代の風を呼び込む「白い椅子」

ホールにホワイトマジック

導入パーラーチェア / MD-2150(白フレーム)

プレイランドキャッスル小牧店(施設概要)

1983年にパチンコホール1号店として『プレイランドキャッスル上社店』をオープンし、現在、愛知県内に10店舗、岐阜県内に1店舗と、計11店舗を展開している。その記念すべき11号店が『プレイランドキャッスル小牧店』だ。地域との親和を第一に、質の高い接客・サービスなどで「独自性」「快適環境」にこだわった店舗づくりに力を注いでいる。

爽快な印象が、明るい未来につながると期待したい

そんな中、トーカイ&エムネットグループの「白い樹脂フレームの椅子(パーラーチェアMD-2150)」に白羽の矢が立ったのだ。フレッシュなホールづくりの支援をすることが目的でこの春、市場投入された今最も注目を集めるパーラーチェアの二つで、MASHIROが描く次世代のイメージとぴったり重なったのである。

白色は、空間を広々と感じさせる効果と、衛生的な印象を与える効果があるので、他にも光を柔らかく反射感じさせるなど様々な雰囲気づくりができる。白いシャツを着ると顔が明るく見えて、爽やかに感じられるおなじみの効果がそれだ。また、白は汚れやすい^{※(1)}と誤解されがちだが、実際には白っぽいホコリなどが目立ちにくくなる。これは逆に長所とも言える。

つまり白を多く使ったホールでは、店内が明るく爽やかにになり、年間を通じてお客をフレッシュな気持ちにさせる効果が期待できる。

世間で騒がれている新型コロナウイルスや受動喫煙対策など、我々の暮らしに閉塞感が漂う中で『プレイランドキャッスル小牧店』のグランドオープンは、地域に明るいニュースを告げる意味では大きな意味を持つ。

MASHIROは、独自の発想とスケールで常に時代に先駆けた「遊び・癒し」を提供し続けてきた。そして、企業ビジョンとして「誇り」「喜び」を掲げ、スタッフ一人ひとりの意識を高め、100年企業に成長させている。企業として、相手を感じるイメージはとて重要だ。今回導入した椅子を通じてだが「白いイメージ」は、パーラーが目指していく未来で、大切なキーワードになるのかもしれない。



開放的で清潔感のある店内

※(1)汚れについて

ホールで最も多く見られる白っぽいホコリが、目立ちにくくなる。逆に目立つのは、黒い糸くずなどだが目につくので小間目に清掃ができ、樹脂の性質上ごみが滑り落ち、長時間清潔感を維持する。